



林 声

2019

3 月号



鏡野町林業研究グループ連絡協議会（あすなるかい明日檜会）で活動されている松岡真由美さんです。
自然に富んだ暮らしに憧れ、大阪府から鏡野町へ移住され、自伐林家を目指して頑張られている森ガールです。

「若い人達にも林業に興味を持ってほしい」とSNSでの情報発信にも取り組まれています。

（詳細はP 2に記載）

目 次

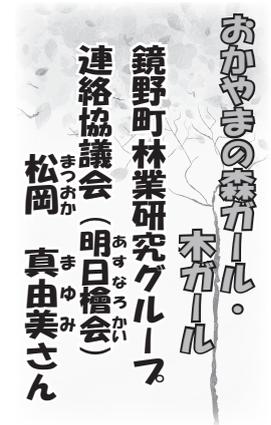
おかやまの森ガール・木ガール		森林認証制度について（林政課林業木材班）	9
鏡野町林業研究グループ連絡協議会		技能講習等情報	10
松岡真由美さん	2	林産物市況	11
がんばる認定事業体（榎杉田林業）	3	森林・林業施設の紹介（高清水トレイル）	14
林業普及指導区の情報（倉敷普及指導区）	4		
ニューフェイスです！			
榎森淵林業 坂手 淳	5		
岡山県森林経営管理制度推進人材バンク			
（林政課普及指導班）	6		
研修事業の実施状況			
（普及推進課林業普及推進班）	7		
山火事予防運動月間（治山課治山班）	8		

【ぼっけ～木になる情報】

Q.「ナラ枯れ」被害とは何のことですか。被害を放置するとどうなるのですか。



おかやま森の大使



豊かな自然や林業に憧れ、大阪府から鏡野町へ移住し、鏡野町林業研究グループ連絡協議会(明日檜会)に入られた松岡真由美さんにお話を伺いました。

一 移住を決めたきっかけ

以前から田舎に住みたいという思いがあり、年齢的にも決断する時期が来た頃、雑誌に林業女子の記事が載っているのを見て、「カッコいい」と思い、林業で働くことを考え始めました。

林業は環境にも貢献でき、地元にも貢献できる素晴らしい職業だと思えます。

兵庫県佐用町、和気町、美作市なども移住先の候補として挙げていましたが、大阪で開催された移住・定住イベントで『かがみのツリーズム研究会』の宮下氏から鏡野町の話を伺い、とても興味を持ちました。

その後、実際に鏡野町内を案内

していただき、とても豊かな自然が心に響いてきました。主人も同感だったため、移住を決めました。

移住後、山を譲ってくれた方がいるので、いずれは自伐林業でやっていきたいと思っています。



刈払機の使い方について指導を受ける松岡さん

二 明日檜会での活動

所属している明日檜会は、平成17年の市町村合併時に、6つの林業研究グループが加盟し、地元の町役場、森林組合などの関係機関が協力して設立された林業研究グループ連絡協議会です。林業についているいる学びたかったため、活動が活発な同会に入会しました。

同会では会員の技術向上のためチェーンソーの安全講習やメン

テナンスなど様々な交流研修が行われており、先輩方が長年培ってきた施業技術や、先進地視察で他県の事例から林業の経営について学ぶなど、新しい技術や情報についても習得するよう、日々努力しています。

三 今後の目標

移住して来て約2年が経過しましたが、山に入るにも一人では危険なため、主人の仕事が休みの日に作業を行うようにしています。現在は主に林業以外の在宅ワークをしています。今後は、ある程度は林業で生計を立てていきたいと考えています。

現在、森林組合から林内作業車を借りて搬出間伐をしています。初めて間伐材を搬出し販売するので、どの程度の収益になるかが、とても楽しみです。

また、譲っていただいた山のほとんどがスギ・ヒノキの人工林なのですが、伐採後は広葉樹等を育てて、里山林としての利用も考えています。現在も薪ストーブ等で薪を使っていますが、自分達で使う薪は自分達で育てていきたいと考えています。

四 新規就業者への思い

若い人や女性にも林業に興味を

持つてもらい、山での生活に足を踏み入れてほしいと思っています。そのためにも、SNS等で実際に活動している人が情報発信することが重要だと思います。

都会から田舎に移住したくなるような情報を発信できるように頑張りたいです。



県外で林業の経営について学ぶ松岡さん

五 おわりに

松岡さんは、明日檜会の活動にとっても熱心に参加されています。

当普及指導区としても、松岡さんを始め、明日檜会の先人達から受け継がれてきた知恵・技術・森林を次世代に引き継いでいくための活動が積極的に展開されるよう、引き続き支援していきたいと考えています。

(津山普及指導区 榎野 佑太)



一 はじめに

吉備中央町の北端、真庭市との境界付近の森林に囲まれた場所に(株)杉田林業の事務所があります。吉備中央町内を中心とした素材生産のほか、土木工事、ガーデニング工事、特殊伐採など幅広い事業を手掛けられておられます代表取締役の杉田真人^{まさと}さんにお話をお伺いしました。

二 会社の概要

昭和20年頃から真人さんの祖父母が炭焼きやカキの養殖筏に使用する竹の伐採を始め、その後、牛を使った素材生産を行うようになってきました。現在の会社は、真人さんが平成21年に業を引き継ぎ、翌年度に株式会社を設立しました。創業から70年余りが経ちますが、『自然と共に歩む企業』『地域から必要とされる企業』を社訓として、地域貢献を第一に考えた事業活動を続けています。

三 素材生産活動

新たな高性能林業機械を近年3台導入し、計10台により効率的な林業経営を目指して取り組まれています。平成29年には「雇用管理の改善、事業の合理化のための計画(改善計画)」が認定され、素材生産量はチップ原料も含め年間5,000立方メートルを超え、着実に増加してきています。



フェラーバンチャとプロセッサによる伐木造材



全国優良材展示会にて

なお、平成30年11月に開催された優良木材の展示会では、林野庁長官賞も受賞されています。

四 人材育成

現在、林業に関わる現場作業員は6名で、会社設立当時から4名増え、積極的な研修参加などによってスキルアップを図っています。また、作業経費の収支管理をそれぞれの作業員に行ってもらい、一人ひとりの仕事へのモチベーションを高めるよう心掛けていきます。

五 今後の展開

高性能林業機械や現場作業員も増えており、国有林での仕事や更なる作業員の充実、チップパーの導入なども検討されています。そうした中、生産性の向上による事業の拡大や新たな森林経営管理制度においても、効率的かつ安定的な林業経営が行える事業体として森林整備の推進に貢献していくことを目指しています。

また、森林林業に興味を持ち、

地域で林業に携わる若い人が育つてほしいとの思いから、町内中学生の職場体験の受入れ



林業機械の操作を体験する中学生

などにも毎年協力しています。こうした地域のための取組も積極的に行っていききたいとのことです。

六 最後に

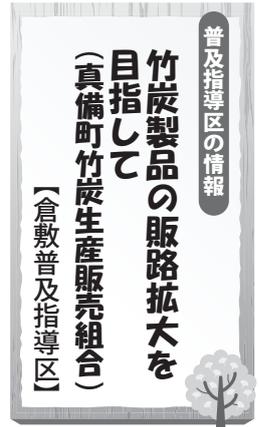
真人さんをはじめ、スタッフみんなが現場作業員を含めたチームワークをとっても大切にされ、働きやすい関係を築いておられることを今回、感じ取ることができました。



(株)杉田林業の皆さま (前列右端) 代表取締役 杉田真人さん

会社を紹介しているユーチューブやホームページからも、『地域の会社』として貢献し、地域の皆様から喜ばれる会社であり続けたことの熱い思いが伝わります。今後も、益々のご活躍、会社のご発展により、地域の森林整備が推進されますことを期待します。

(岡山普及指導区 内山貴博)



倉敷市真備町で地域活性化のために活発に活動している真備町竹炭生産販売組合の取組みを御紹介します。

一 真備町竹炭生産販売組合設立

真備町竹炭生産販売組合（以下、竹炭組合）は、平成11年に真備町の特産品であるたけのこの生産に不可欠な竹林の整備で伐採される竹の有効活用などを目的として設立され、同年真備町箭田^{やた}地内に竹炭窯（以下、マービー窯）が整備されました。

二 詳細な生産工程

竹炭組合は、たけのこ生産者の要請で竹の間伐材を集荷し、次のとおり詳細な生産工程を決めて、年4回窯出し作業を行っています。

- ①竹の間伐材を1mに切断後、竹割機で五分割して節を採り、直径30cmの束を作る。
- ②2〜3ヶ月間自然乾燥させた束

を約2週間窯前で待機させ、乾燥したものを窯に投入、縦積後、上部も隙間なく詰め込む。

③窯前部に焚口と空気導入口を開けて耐火煉瓦を隙間なく粘土で仕上げる。

④焚口を約1週間乾燥させた後に火入れを行い、3日間で800℃まで徐々に昇温し、最後は1,000℃を超えるまで2時間強制送風する。

⑤その後窯前面を密封し、煙突も取り外して完全密封する。

⑥冷却時間を約2週間設けた後、窯出しする。

三 多種多様な竹炭製品

窯から取り出した竹炭は用途に応じた長さに切断したり、粉砕して製品化します。

竹炭組合が製品化しているものは、①板状竹炭（農業肥料混入用、炊飯・飲料用）、②粒状竹炭（土壌改良園芸用、床下用、冷蔵庫用、靴箱・室内用、車用）及び③鑑賞用、生花保水用です。

最近では、④粉状竹炭（児島ジーンズ竹炭染色用、工業用大型タイヤ混入用、健康食品添加物）など多種多様な竹炭製品を供給しており、竹酢液も併せて近くの「た

けのこ茶屋」などで積極的に販売しています。



竹炭製品、竹酢液

四 相次ぐ危機

数年前からマービー窯の老朽化に伴う亀裂で炉内温度が上昇せずに竹炭の品質が悪化し、不良品が増えるようになってきました。

更に、昨年は西日本豪雨で大半の組合員が被災し、竹炭組合の存続が危ぶまれました。

五 販路拡大を目指して

こうした中、本年度マービー窯の改築工事を行う運びとなり、昨年12月に完成しました。

また、7月の西日本豪雨後、竹炭生産は2名だけで行っていました

たが、窮状を知った倉敷市民らが新たに加わり、現在は15名体制で作業しています。

竹炭組合の川田組合長は「新しいメンバーも増え、以前より作業体制は充実している。マービー窯の改築を契機に、新規販路の拡大や新製品の開発、研修会への参加も積極的に行っていきたい」と意気込んでおられます。



改築後のマービー窯と作業メンバー

六 おわりに

当普及指導区では竹炭組合の活動が更に活発となるよう、竹炭組合の取組みを広く普及啓発してきたいと思えます。

（倉敷普及指導区 花田智雄）



株式会社 森淵林業
坂手 淳さん (40歳)

今回は、津山市にある株式会社森淵林業の坂手淳さんをご紹介します。坂手さんは平成30年3月から勤務されており、林業経験1年のニューフェイスです。

取材にも快く誠実に答えていただきました。

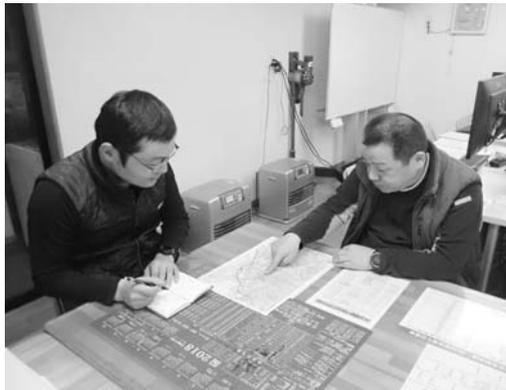


株式会社森淵林業 坂手 淳さん

一 経歴

坂手さんは、鏡野町の出身で津山市内の高校を卒業後、大阪府にある大学に進学し、映像関係の勉強をしていました。卒業後はバイ

ク用品販売やCD販売などの仕事をしていたが、8年ぐらい前から趣味で登山を始めてから、山での仕事に興味を持つようになったそうです。そのような中、ご家族が仕事のつきあいで株式会社森淵林業の社長と知り合いであったこともあり、就職を決められたとのことでした。



社長(右)と打合せ中の坂手さん(左)

二 仕事の内容

坂手さんは現在、事務の仕事と現場での仕事を半々の割合で担当しています。事務では見積りの作成等を行い、現場ではチェーンソーによる伐採、集材時の玉掛け作業の補助等を行っています。

「まだ林業機械のオペレーターができないため、会社の事務仕事

を今のうちにしっかり身につけたい。機械の操縦資格も今後取っていききたい。」と話されました。

三 仕事の感想

仕事の感想についてお聞きしたところ、「山の中に行けることが楽しいですし、元々地形図を見るのが好きなこともあり、自分に合っていると思います。株式会社森淵林業では、社員の仕事の頑張りを数値で評価するシステムがあり、技術を身につけて頑張った分だけ給与に結びついてくるので、とてもやりがいを感じます。」と話されました。



現場での測量

また、苦勞していることについては、「見積りを作成する際に、

どれくらいの単価になるのか、また、作業道のルート選定の際には、実際に道を入れたときに傾斜角がどれくらいになるのか、などイメージがしにくいことが多い。」ということでした。

今後の抱負については、「早く社長のサポート・仕事の代わりができるようになりたい。事務と現場の両方の仕事を身につけて、現場作業員の指導やICTの積極的な活用などもできるようにしたい。」とのことで、熱意や積極性をとても感じました。

四 社長からの一言

「早く自分の右腕になって、現場もできる総務課長的な役割を担ってもらいたい。今後は現場作業員の育成体制を社内充実させていきたいので、その部分にも携わってもらいたい。」とのことでした。

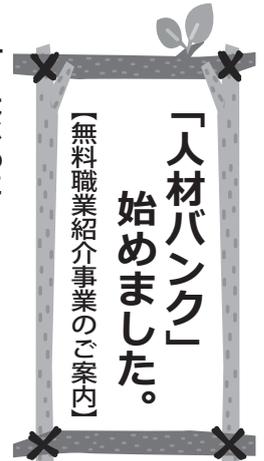
五 終わりに

今回取材させていただき、坂手さんの熱意や社長からの期待も感じられ、とても頼もしく思えました。今後の株式会社森淵林業と坂手さんの益々のご活躍を期待しており、当普及指導区としても引き続き支援していききたいと考えています。

(津山普及指導区 佐藤雅之)



図1 森林経営管理制度の実施フロー図



はじめに
県では、新たな森林経営管理制度を実施する市町村等の人材確保を支援するため、無料職業紹介事業所

(岡山県森林経営管理制度推進人材バンク(以下「人材バンク」という)を、県林政課内に設置しました)

二 新たな森林経営管理制度について

新たな森林経営管理制度については、林声2018.7月号(No.460号)で紹介しましたが、再度概要を説明します(図1参照)。

この制度において、まず行われるのは市町村による森林所有者への意向確認です。①市町村は、これまで間伐等の管理が行われていない森林の所有者に対し、今後の経営管理についての意向を確認します。②森林所有者から経営管理の委託を希望する旨の意向が表明された場合は、市町村は経営管理権を設定し、林業経営に適した森林か否かの判別を行い、③経営に適した森林は林業経営者に再委託し、④適さない森林は市町村で管理することとされています。

三 人材バンクの概要

新たな森林管理制度を円滑に実施するためには、市町村や、意向調査を市町村から受託する森林組合等において、森林・林業の一定の知識や技術等を有する林業技術者や、森林所有者の探索・意向確認等を行う実務経験者などの専門的な人材

が必要とされています。

このため、県では、市町村等による求人情報と専門的な人材からの求職情報を集約化し、市町村等と専門的な人材とのマッチング(あっせん)を図るため、人材バンクを設置しました(図2参照)。

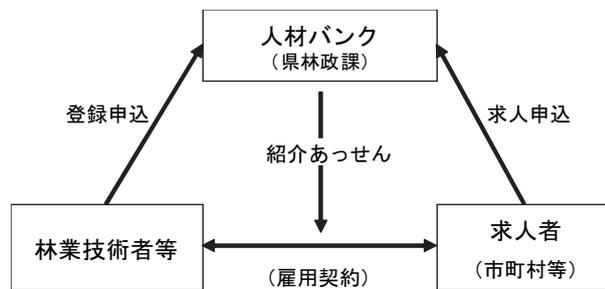


図2 人材バンクの仕組み

○マッチングまでの流れ
【林業技術者等(求職者)】

①面談の実施
はじめに、人材バンクの担当者と面談を行います。希望条件や能力、これまでの経験などをお聞きし、新たな森林管理制度に関するご質問にもお答えします。まずは、お電話でご予約をお願いします。

②求職票の提出

面談後、求職票に必要事項を記入の上、登録の申込みをしていただきます。

③求人者の紹介

人材バンク担当者が、求職者の経験や能力、希望条件などを考慮した上で、マッチする市町村等をご紹介します。

④応募・書類選考

紹介の結果、興味のある市町村等に求職者を推薦し、選考に進みます。

⑤面接

人材バンク担当者が市町村等の選考日程を調整します。

⑥採用決定

採用になりましたら、人材バンクにご連絡ください。

【市町村等(求人者)】

①求人票の提出
林業技術者等の雇用を予定している市町村等は、人材バンクに求人票を提出してください(随時)。

四 おわりに

人材バンクでは、新たな森林管理制度関係業務の支援をしてくださる方を探しています。あなたの技術・知識を発揮してみませんか? まずは、人材バンクにお電話を!

■人材バンク連絡先

086-226-7451(直通)

(林政課 普及指導班)



平成30年度研修事業の実施状況について

一 はじめに

本県では、今後の林業のあるべき姿、その実現に向けて取り組むべき基本方針を示した「21おかやま森林・林業ビジョン（平成27年3月改訂）」を策定し、各種施策を推進しているところです。

岡山県農林水産総合センター（普及連携部普及推進課林業普及推進班）においては、これら施策の一つである「林業労働者の育成・確保」、「林業作業士等の人材育成」を図るため、林業事業体や高校生等を対象とした技術研修を毎年実施しています。

二 現場指導者育成研修

林業の労働災害発生率は他の産業よりも非常に多い状況が続いています。特に、立木伐採作業中に被災し亡くなられた方が全体の3分の2を占めています。このため、安全で正確な伐倒技術を習得し、その技術を伝えることのできる指導者を養成する研修を昨年度に引き続き実施しました。

狙った位置に安全で確実に伐倒するための受け口作りや、チェーンブレイキの徹底など、基本的な技術や安全意識を実習で学んだほか、座学では作業中に起こりうる災害リスクを想定し、その回避、改善策について時間をかけて検討し、内容をまとめました。

本年度は7名が延べ8日間の研修を修了しました。昨年度からの修了者は16名となり、その多くが緑の雇用集合研修の講師を務めるなど活躍されています。



現場指導者育成研修

三 森林作業道作設オペレーター育成研修（基礎）指導者育成

持続可能な林業経営を展開するためには、災害に強く、丈夫で繰り返し使用することができ森林作

業道を作設することが重要です。このため、その道づくりに必要な知識や施工技術を有するオペレーターを育成するとともに、将来の指導者を養成する研修を本年度も実施しました。

基礎研修では、路線計画、踏査選点、支障木の伐倒処理、基礎土工を、また、応用研修では、洗い越し工を重点的に学びました。

また、新規指導者育成研修では、より高度な作設技術の習得はもとより、相手に分かりやすく伝える指導方法を身につけました。



森林作業道作設オペレーター育成研修

四 高性能林業機械現地研修

林業への就業促進を図るためのインターンシップとして、県立勝間

田高校など林業関係学科の高校生を中心に、ハーベスタ、フォワーダなどの高性能林業機械を操作する体験学習を実施しました。

延べ3日間の研修に37名の高校生が参加しました。この参加者の中から一人でも多く林業就業者が誕生することを期待しています。



高性能林業機械現地研修

五 おわりに

いよいよ来年度から、市町村が中心となった新たな森林経営管理制度が始まります。県としては、林業事業体等を対象にした研修を継続実施するとともに、市町村職員等に対する研修を充実させるなど、一層の支援に努めてまいりますので、よろしく願います。

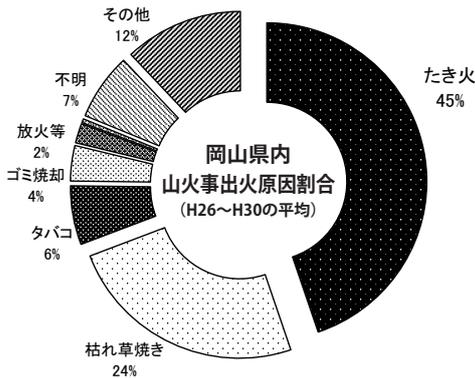
（普及推進課 林業普及推進班）

3月は山火事予防運動月間です

春先は、空気が乾燥し、風の強い日も多くなることから、山火事が非常に起こりやすくなります。

県では3月を「山火事予防運動月間」と定めて、県民の山火事予防意識の啓発を図っています。

県内では、過去五年間に250件の山火事が発生し54畝の緑が失われています。その原因は、たき火や枯れ草焼きの不始末といった人の不注意によるものがほとんどです。



ひとたび山火事が発生すると、一瞬で大切な森林が失われて

しまいます。

今年の統一標語は「忘れない豊かな森と 火の怖さ」です。山火事を防ぐ6つのポイントに注意して、大切な森林をみんなまで守り、未来へと引き継ぎましょう。



※山火事を防ぐ6つのポイント

- 強風・乾燥時はたき火をしない
- たき火の後始末は完全に
- 枯れ草焼きやあぜ焼きなどは一人でしない
- タバコの投げ捨てはしない
- 子供の火遊びはダメ
- 火入れをするときは許可を受けよう

(治山課治山班)

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆ シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材

防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>

大阪営業所 津山営業所 水島営業所

安心と信頼の証を届けます



創業以来、永年に渡り体育器具・遊具を製作してまいりました。地元メーカーとして責任ある製品作りに取り組み、安心と信頼を皆様にお届けします。

日本体操協会器械器具検定工場・日本公園施設業協会認定工場
大久保体育株式会社

■本社 〒703-8214 岡山市東区鉄409 TEL (086) 279-0585 FAX (086) 279-0460
■倉敷営業所 〒710-0312 倉敷市藤戸町天城1021-1 TEL (086) 428-7576 FAX (086) 428-6153
■東京営業所 〒201-0003 東京都江市和泉本町1-21-1(201) TEL (03) 5761-9577 FAX (03) 5761-9587

森林認証制度について

一 はじめに

森林認証制度とは、適正に管理された認証森林から生産される木材等を生産・流通・加工工程でラベルを付すなどして分別・表示管理し、それらを消費者が選択して購入することに、持続的な森林経営を支援する仕組みです。

二 森林認証制度の種類

国際的な森林認証制度としては、「世界自然保護基金(WWF)」を中心に発足した「森林管理協議会(FSC)」とヨーロッパ11か国の認証組織により発足した「PEFC」の二つがあります。

日本独自の森林認証制度としては、「一般社団法人緑の循環認証会議(SGEC(エスジェック))」が行っている認証制度があり、平成28年にSGECとPEFCとの相互認証が実現されています。

三 森林認証の種類

森林認証は、一定の基準をクリアした林業経営や森林管理に与えられる認証(FM(Forest Management)・森林管理)認証)と、各流通の過程で非認証製品が誤って混入することを防ぐために、認証製品を取り扱う加工業者や流通

業者が取得する認証(CoC(Chain of Custody)：管理の連鎖)認証)の二つの認証から構成されています。

四 岡山県内の取得状況

主なFM認証の取得状況は、平成18年に西粟倉村がFSC-FM認証を、平成28年に県を中心とした岡山県森林認証・認証材普及促進協議会がSGEC-FM認証を取得しており、県全体の森林認証面積は約八万二千畝(平成30年9月現在)で岡山県民有林面積の約二割を占めています。

CoC認証は、素材生産業者、製材工場等38事業者が取得しています(平成30年9月現在、林政課調べ)。

五 森林認証の取得について

森林認証を取得するには、それぞれの森林認証制度を管理する独立した第三者機関(認証機関)が基本となる森林管理基準を作成し、その基準と実際の現地や森林管理に関する書類などを照らし合わせて評価・認証を行います。

なお、認証の有効期間は、五年間で、年一回維持審査が行われます。また、県は森林認証の取得を促進するための支援を行っています。

六 認証取得・活用のポイント

森林認証を取得する際には、複数の所有者や事業体などが一つのグ

ループとなって認証を取得する方法(グループ認証)があり、グループの構成員で認証費用を分担することができま

す。また、FM認証取得においては、既存の森林経営計画をベースにした認証取得も可能です。

次に、CoC認証の管理ポイントは、材料の調達段階では認証材であることを文書で確認できること、製造段階では認証材が容易に識別できる管理状態であること、最後に販売段階では、ロゴマークを適切に使用することが求められます。

その他、通常の事業者の認証とは異なり、建設・製造されるプロジェクト(建築物等)そのものを認証するプロジェクト認証があり、サプライチェーンを構築する事業者がCoC認証を取得していない場合でも利用できます。

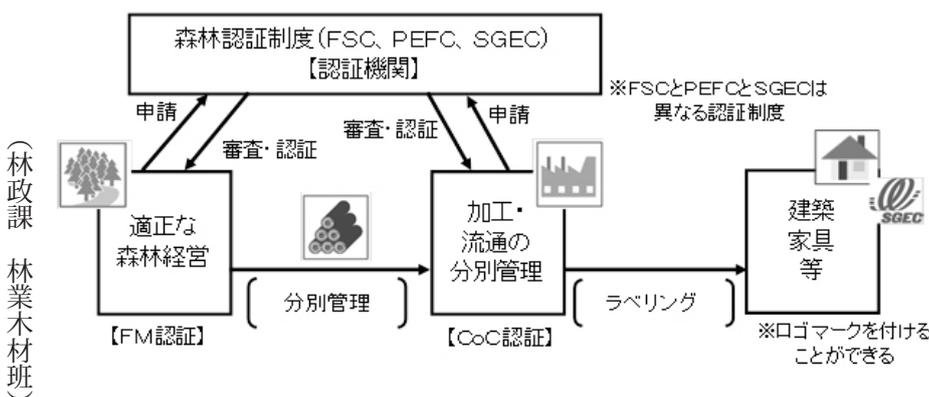
七 おわりに

県内の森林資源は充実しており、海外への木材輸出に注目が集まる中、国際的な木材取引においては、森林認証材が標準となりつつあり、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の選手村や競技施設の整備等において、国際基準に合致した森林認証制度に基づく認証材が採用されており、これらを契機に森林認証材の利用促進が期待されます。

現在、県庁及び出先事務所を訪れると、木製名札を着用した職員を見

かけると思います。この名札は、県内の森林認証を受けたヒノキ材を用いたもので、森林認証材を含む県産材のPRに役立っています。

なお、平成31年度から森林認証材を使用した住宅や公共建築物等に対して支援を行う予定としており、今後とも、森林認証材の利用促進を図っていきます。



技能講習会の開催（4月～6月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	5月16,17日	一般社団法人 岡山労働基準協会 TEL (086) 225-3571
	津山	5月30,31日	
玉掛け	岡山	4月4,5日、5月9,10日	
	新見	5月23,24日	
	津山	5月27,28日	
フォークリフト運転	岡山	4月3日、5月15日	
	新見	4月4日	
	津山	4月16日、5月29日	
伐木（特別教育）	津山	6月17,18日	
刈払（安全衛生教育）	津山	4月23日、6月10日	
	岡山	5月22日	
	新見	6月11日	
はい作業主任者	倉敷	6月5,6日	陸上貨物運送業労働災害防止協会 岡山支部 TEL (086) 234-1332
林業架線作業主任者（免許）	福山	6月11日	中国四国安全衛生技術センター TEL (084) 954-4661

共販日（記念市）のご案内・・・・・・・・岡山県森林組合連合会



- 4月 9日（火）津山木材共販所 開設57周年記念市
- 4月23日（火）新見木材共販所 開設55周年記念市
- 4月26日（金）勝山木材共販所 真庭木青協特別市
開設53周年記念市



◆各共販所へ多くの出荷をお待ちしております。

7月 3日（水）乾しいたけ春季特市（予定）



また、来年度も引き続き出荷者の皆様には出荷量に対する運賃助成をさせていただく予定です。選別作業も当会で行いますので、多数のご出荷をお願いします。

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕 	森樹郎マット 〔切土土砂用〕 	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕 	張りウッド 〔盛土用〕 	ハリシバモック 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎（シンキロウ）マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

林 産 物 市 況



●木 材 (2月19日)

単位：千円/m³

樹種	長さ	径 級	直材	小曲り	樹種	長さ	径 級	直材	小曲り
杉	3 m	1 4～1 6	10.5	—	檜	3 m	1 4～1 6	18.5	16
		1 8～2 0	10.5	—			1 8～2 0	16.5	16
		2 2～2 8	11	—			2 2上	18	17.5
	4 m	1 8～2 2	10	—		4 m	1 4～1 8	20.5	19.5
		2 4～2 8	10	—			2 0～2 2	18	17
	6 m	1 6～1 8	13	—			2 4～2 8	18.5	17
松	3 m	1 8～2 2	13	8	6 m	1 6	25	18	
	4 m	1 8～2 2	12	8		1 8～2 0	31	20	
・出荷材積			約2,200m ³						
<p>(共販所より概況)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>杉概況 全般に並材は横這いが続いている。 元木良材は、やや頭打ちながらも強気で取引された。</p> <p>【3m】 【4m】</p> <p>柱 材 保合い 中目材 保合い</p> <p>中目材 保合い 元 木 強保合</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>檜概況 3mは並材から元木まで横這い。 4mの構造材と元木は大幅な値上がりはないものの、 買い気良く強気で取引された。</p> <p>【3m】 【4m】</p> <p>柱 材 保合い 柱 材 強含み</p> <p>中目材 保合い 中目材 保合い</p> <p>元 木 保合い 元 木 強含み</p> </div> </div> <p>松概況 一般的に弱持合。元木良材は横這いだが、他は弱気。</p>									

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

●製 材 (2月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ～ 高 値 (円/m ³)	備 考
ス ギ	正角3m 10.5cm角	特等	K	53,000 (直送) ～ 58,000 (市場)	
	正角3m 12cm角	特等	K	53,000 (直送) ～ 58,000 (市場)	
ヒノキ	正角3m 10.5cm角	特等	K	65,000 ～ 68,000 (無背割)	
	正角3m 12cm角	特等	K	60,000 ～ 65,000	
	正角4m 10.5cm角	特等	K	65,000 ～ 70,000	
	正角4m 12cm角	特等	K	63,000 ～ 65,000	
マ ツ	平角4m 10.5 ～ 12cm ×15～18cm	一等	K	75,000	
米マツ	正角3m、4m 10.5cm角	特等	G	58,000 ～ 60,000	
	平角3m、4m 10.5 ×15～21cm	特等	G	62,000 ～	
北洋アカマツ	タルキ4m 3.8cm角	特等	K	70,000 ～ 75,000	
ホワイトウッド	間柱3m 2.7cm×10.5cm	特等	K	60,000 ～	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

ほっけー木になる情報

A. ナラ枯れとは、体長5mmほどのカシノナガキクイムシという甲虫が媒介するナラ菌により、コナラやミズナラなどのナラ類、シイ・カシ類の広葉樹が枯れる樹木の伝染病です。

被害の特徴は、紅葉前にも関わらず、夏から初秋にかけて樹木が枯れることと、樹木の根元にフラス（木くずと糞の混合物）が大量に発生していることです。

岡山県では平成21年度に初めて被害が確認され、県北東部の鳥取県境付近を中心に被害が年々増加傾向にあります。

最近では、真庭市の蒜山高原や新庄村でも被害が増加しており、今年度は新たに新見市北部でも被害が確認されています。

【岡山県の取組】

ナラ枯れ被害は、奥山地で発生していることが多く、地上からの調査だけでは被害木を見逃してしまうこともあるため、県ではヘリ

コプターを利用し、上空からの調査を行い、被害木の早期発見に努めています。

被害木を放置すると翌年度大量のカシノナガキクイムシが羽化脱出し、周囲の健全木に被害が拡大することから、発見された被害木については、薬剤等による駆除対策を実施しています。



フラスの発生状況

また、近年の被害拡大の要因の一つとして、里山林等に人の手が入らず、放置された広葉樹林が高齢化、大径木化していることが考えられています。このため、未利用となつている広葉樹のしいたけ原木等への積極的な利用についても支援を行っています。

さらなる被害の拡大を防止するため、次のような特徴のある被害木を見つけた場合には、最寄りの県民局森林企画課又は地域森林課へご連絡をお願いします。
・根元に多数の穿入痕と大量のフラスが発生している。
・葉が縮れて茶褐色に変色している。
・周囲の木は落葉しているのに、葉が落ちていない。

(林政課森林保全班)

事務局からのお知らせ

◎会員及び投稿募集しています
事務局では、会員の方から森林・林業に関する質問や疑問、イベント情報等、身近な話題の投稿をお持ちしております。
また、新規会員も継続して募集しております。

【問い合わせ・送付先】

〒700-8570
岡山市北区内山下2-4-6
岡山県庁林政課内 または
〒717-0013
真庭市勝山1884-2
森林研究所木材加工研究室内

【編集後記】

●この1年余り表紙を飾ってくださった森ガール・木ガールの皆様を始め、森林・林業・木材産業に携わる全ての方々の活躍により森林の大切さや魅力、木材の良さなどがもっと広く知れわたり、森林がより良い姿になりますように。(O)

◆「林声」も昭和26年の発刊から68年目を迎え、平成最後の号となり、新しい時代へと引き継がれます。今後も「林声」を末永く愛読して頂けると幸いです。(S)



林声

平成三十一年三月一日（第四六四号）
（隔月一日発行）



ルートからの眺望

森林・林業施設の紹介

「たかしみず 高清水トレイル」

鏡野町は県内の町村の中では最大の面積を誇り、林野率は87%で、そのうち72%が人工林です。（林野率、人工林率ともに県下3位）また、人形峠は、岡山県と鳥取県の県境の峠で、峠付近には日本で最初に発見されたウラン鉱床があります。

鏡野町では、観光と農林業の連携を図りながら「健康のまちかがみの」に資する施設として、平成29年から3カ年をかけ、『高清水トレイル』の整備に取り組んでいます。人形峠から伯州山（はくしゅうざん）

までの県境に総延長約8.1kmのトレッキングコース、トイレ及び展望台などを設置することとしていきます。

現在、入口から約1kmの管理道や避難用の東屋などが完成しており、5月に一部区間の利用開始を予定しています。

ルートからの眺望は素晴らしく、天気の良い日には大山や日本海を望むことができます。

また、ルート途中にはスギ・ヒノキの人工林、ブナの天然林等の多様な森林があり、森林に目を向けるきっかけづくりになると考えています。ぜひ、雄大な自然を楽しみながら歩いてみてください。



森林歩道

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金がでるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約3千万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース（1haあたり）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと 21,225円（5年間計）

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと 37,375円（5年間計）

1ヶ月あたり
約350円

わずかおむすび
3個分



1ヶ月あたり
約620円

わずかラーメン
1杯分



○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

編集 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
発行 岡山市北区内山下二一四一六